



「笑顔いっぱい！フレンドリーオフィス」認定事業所の 障害者雇用にかかる取組事例



事業所名：株式会社エスコアール

1. 障害者雇用までの経緯・きっかけ

会社設立当初より正社員は障害者、パートなどは健常者も雇用すると決めていた。

2. 障害のある人が従事している主な業務

出版編集、PC操作によるデータ処理、ホームページ作成、商品の梱包及び発送

3. 障害のある人を受け入れる体制を整えるために行った取組や、周りの従業員への理解促進のために行っている取組

- ・入社時に障害特性や必要な配慮の説明を全社員に行う。
- ・聴覚障害者本人から、その不便さ等を社員に向けて講義。

4. 障害のある人の雇用継続のために行っている取組や、障害のある人の働く意欲を維持するために行っている取組

- ・精神障害があり、通勤時間の長い社員に対して、勤務時間の短縮・体調が整わない時の自己申告に応じた。
- ・身体障害があり、通勤に片道1時間かかる社員は在宅勤務にしている。
- ・発達障害がある社員に対して、上司は曖昧な指示を避けるよう説明し、仕事に間違いが生じた際には指示の出し方を再考するよう説明した。

5. 障害のある人を雇用する上で連携した支援機関と、支援機関を活用して良かった点

連携した支援機関（ 千葉障害者職業センター（ジョブコーチ派遣） ）

活用して良かった点

- ・入社間もない障害のある社員の不安と、受け入れる社員の間を取り持つ意味で、ジョブコーチの派遣を依頼した。
- ・直接言えないことなどをジョブコーチが聞き取ってくれたことや、発達障害があることについて受け入れられない家族に対して、会社から伝える事が難しく、ジョブコーチにお願いして説明してもらった。大変力をいただき、助けていただいた。